## ことも探検隊便り

## 2月はお菓子でつくるひな人形+73千雑祭

2月 こども探検隊は"お菓子で作るおひな様"です。みんなで

お菓子のカワイイおひなさまを作ってみま しょう。その後、プチひな祭りがあるかも。 作ったおひな様は持ち帰って飾りましょう。



日時:2月19日(土)朝10時から

場所:リエトプラザⅡ

参加費:こども 500円(保険・材料費) 大人200円

申込締切:2月15日(火) 先着25組まで お子様だけの参加の場合は、事前にご連絡下さい。

1月 15日 晴れた冬の日、探検隊は凧作 ■ り・凧上げ大会+おしるこでした。みんな で苦労しながら、楽しく凧を作り、その後、 エリマネ前の円形広場で走りながら凧を揚 げて遊びました。走った後は、オイシイお しるこでした。



自分の凧 作ったヨ

#### ちょっと小さな交流会 2月は "ちょっと体を動かしましょう"

2月「ちょっと小さな交流会]は"ちょっと体を動かしましょう" (**太極拳のご紹介など**)です。姿勢をただし、体をほぐし、上手な 体の使い方を太極拳の型を教わって実践してみましょう!

当日は太極拳の先生が参加されます。簡単な型を覚えて、日頃の生 活に活かしてみたらいかがでしょうか。軽い太極拳でリラックスし た後は、いつものおしゃべり会です

日時:2月11日(祭日・金)13:00 受付け、13:30 開始~

場所:リエトプラザⅡ

1月 14日「ちょっと小さな交流会」は小杉 の昔と今を歩きました。天気に恵まれ、小杉 の昔と今の名所スポットを歩きました。参加 者は講師の話を聞きながら、ゆっくりと日枝 神社、大楽院、多摩川堤防、原家、安藤家な どを散歩した2時間の交流会でした。

.....



ちょっと歩いて多摩川

# 子育て支援 ワークショップ

# 

核家族化が進み、子育てに悩みを抱えている人が多くいる現在。

「子どもを育てること」をテーマに体験型講座 (ワークショップ) を実施します。 子育てに関して感じている部分、子どもが思いや りのこころを育める環境をつくるには何が必要か、地域で子育て を見守るために必要なこと・・・など、自分たちができることか ら考えてみませんか?

日時と場所

2011.2.3(木) 10:00~12:30 (受付け9:45~) リエトプラザⅡ

### 申込とお問い合せ

Tel 044-744-3252

Fax 044-744-3342

子育て支援について、グループディスカッ ションなどの作業を通してみんなで一緒に 考えて行きましょう。

\*保育の必要な方はご相談下さい。



## 地域サークル紹介No. 7 「英字新聞にチャレンジ」

ミッドスカイタワー「英字新聞にチャレンジサークル」の紹介

「英語でおしゃべりをする集まり」が武蔵小杉にあっても良い かなって。そんな気分から、「英字新聞にチャレンジ」は発足。

目指すは英米の住宅街での気楽な"Coffee Morning"。 ミッドスカイタワーのロビーなどで、平日、月に2回くらい 2時間ほど集っています。。。

実は「英字新聞を読んで」というより、「あんなことがあっ たよね~」、「こんな風に感じたわよ~」、と英語で情報交換。

「面白い記事持ってきたわ!」と英字新聞持参もあり。 英語で仕事をしていた方、海外駐在経験ありの方もいて、 「気分は武蔵小杉の"Desperate Housewives"。。な~~んて。」



今のところ、会員数はなんと5人。 会は不定期ですが「英語でたわいない おしゃべりをしたい」という方、ご連 χ 絡ください。今ならあなたの予定に合 わせられるかも!?

(連絡先:宮内 TesolJune@yahoo.co.jp)

### **地域の活動紹介** (株)富士通グループの清掃活動



(清掃活動をされている富士通グループさんのご挨拶です) 昨年5月、JR武蔵小杉駅横須賀線口の近く の野村不動産武蔵小杉ビルN棟・S棟に移っ |てきました㈱富士通、㈱富士通エフサスです。

地域社会・自治体と連携した社会貢献活動 として、1月20日(木)の昼休みに有志者の

45名が集まり、ビル周辺の清掃活動を行い| ました。当日は天気がよく、それほど寒くな かったため、気持ちよく清掃活動が出来まし た。2月と3月の第3木曜も活動を行う予定 (地域の清掃活動、ありがとうございます)



昭和46年に発行された「中原街道小杉から久末までをた ずねて」を参考とした歴史研究を基礎に掲載しています

かっての川筋が、今等々力緑地に

小杉陣屋と小泉次太夫 二ヶ領・六郷用水 の工事と米の増産

徳川家康が当初から力を入れ たのは、街道の整備と米の増産 でした。当時、多摩川沿いの村々 は川の流れに接しながら水利が 悪く、草原、荒れ地、砂礫の河 原ばかりで、4、5軒から10軒ぐ

らいの集落が散在する状況でした。

また、昔の多摩川は、洪水を繰り返しては田畑を流す、荒々し い川で、多摩川の水を利用するには、堤防を築き、必要な量の 水を引き入れてくる「農業用水の建設」が是非とも必要となっ ていました。

この様子を見て、用水工事による新田開発の必要性を家康に進 言し、工事の実施をまかされたのが、駿河国の出身で人工用水 開削に熟達している代官であった小泉次大夫 (こいずみじだゆ う) です。

こうして、慶長2年には、多摩川右岸の稲毛川崎(二ヶ領用 水)と、左岸の世田谷六郷(六郷用水)の合わせて4ヶ領に及ぶ 用水工事が始まりました。次大夫は川崎領に入ると直ちに測量 の杭打ちを開始し、対岸の六郷用水の建設と並行して工事の指 揮をとりました。

工事には、多数の農民たちが動員されており、工事の士気を 高めるために女性も労役に参加させたことから「女掘」とも呼 ばれています。